



<平均の求め方>

※<sup>かりへいきん</sup>仮平均…平均を求めるために決めた値

(例) 長縄跳び大会の各クラスの結果【仮平均を45回として考える】

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	46	42	50	38	43
仮平均との 違い(回)	+1	-3	+5	-7	-2

① 「仮平均との違い」の平均を求める。

$$\{(+1)+(-3)+(+5)+(-7)+(-2)\} \div 5$$

$$=(-6) \div 5 = -1.2 \text{ (回)} \rightarrow \text{仮平均より1.2回少ない}$$

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求める。

$$45 - 1.2 = 43.8 \text{ (回)} \quad \text{---} \quad \text{(平均) = (仮平均) + (仮平均との違いの平均)}$$

・ 下の表は、あるカフェの1週間のコーヒーの曜日別の売り上げ数と仮平均を92杯としたときの仮平均との違いを表したものです。

※水曜日は定休日

	月	火	木	金	土	日
売り上げ数 (杯)	87	91	96	89	93	84
仮平均との 違い(杯)	-5	-1	+4	-3	+1	-8

① 仮平均との違いの平均を求めなさい。

$$\{( \quad ) + ( \quad )\} \div 6$$

=

② ①から6日間の売り上げ数の平均を求めなさい。





<平均の求め方>

※<sup>かりへいきん</sup>仮平均…平均を求めるために決めた値

(例) 長縄跳び大会の各クラスの結果【仮平均を45回として考える】

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	46	42	50	38	43
仮平均との 違い(回)	+1	-3	+5	-7	-2

① 「仮平均との違い」の平均を求める。

$$\begin{aligned} & \{(+1)+(-3)+(+5)+(-7)+(-2)\} \div 5 \\ & = (-6) \div 5 = -1.2 \text{ (回)} \rightarrow \text{仮平均より1.2回少ない} \end{aligned}$$

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求める。

$$45 - 1.2 = 43.8 \text{ (回)} \quad \text{---} \quad \text{(平均) = (仮平均) + (仮平均との違いの平均)}$$

・ 下の表は、あるカフェの1週間のコーヒーの曜日別の売り上げ数と仮平均を92杯としたときの仮平均との違いを表したものです。

※水曜日は定休日

	月	火	木	金	土	日
売り上げ数 (杯)	87	91	96	89	93	84
仮平均との 違い(杯)	-5	-1	+4	-3	+1	-8

① 仮平均との違いの平均を求めなさい。

$$\begin{aligned} & \{(-5)+(-1)+(+4)+(-3)+(+1)+(-8)\} \div 6 \\ & = (-12) \div 6 \\ & = -2 \end{aligned}$$

- 2 杯

② ①から6日間の売り上げ数の平均を求めなさい。

$$92 - 2 = 90$$

90杯

